

は じ め に

原爆被災学術資料センター（通称，原爆資料センター）は昭和47年に設立され，病理部と資料調査部の二部門で構成されています。原爆資料センターの目的は原爆被災に関する学術資料を収集保管することでありましたが，この15年間の活動の間に，これらの資料を用いて原爆後障害研究として成果を上げ，すでに学会発表や学術論文として公表してまいりました。原爆資料センター設立15年を機会に，その研究成果をまとめました。

この「長崎原爆研究」は原爆被災40年後の，これからの原爆医療研究の方向を決める資料となりうるものと信じております。皆様には今までの原爆資料センターの活動をご理解下さり，これから私共の活動に対し，ご指導をいただければ幸いです。

昭和63年 3 月

長崎大学医学部長

松田源治

附属原爆被災学術資料センター長

奥村 寛